

ほけん便り

No. 4 耳鼻科医師 海江田 哲先生と考える 私たちと耳鼻科疾患

令和6年7月12日
近年、社会環境や、生活様式の変化により、小中高校生のアレルギー疾患の増加が指摘されています。アレルギー疾患の中でも特に、アレルギー性鼻炎や花粉症に悩まされている人は周りに多く居て、私たちの身近な問題となっています。これらの疾患に、私たちはどう向き合えばいいのか、耳鼻咽喉科医師の海江田先生にお話を伺いました。

海江田 哲先生
海江田耳鼻咽喉科院長
本校専門医（令和2年度）
高校時代の部活 野球部



鳴川 海江田先生、今日は検診でお世話になりました。お忙しい中、いくつか質問をさせていただけます。よろしくお願いたします。

海江田 Dr はい。お願します。

鳴川 今日のご検診でもご指摘されたように、自分たちの周りには鼻炎や花粉症の人が多くいます。昔からスギやヒノキなどは多くあったと思いますが、だんだん鼻炎や花粉症の人が増えてきたのはなぜですか？

海江田 Dr 戦後、荒れた国土の復旧や経済成長による木材需要に因るため、スギやヒノキなどの造林が国を挙げて行われまし

た。でも、1971年ごろからは、国内の木材生産が停滞し、スギやヒノキが伐採されなくなりました。花粉を大量に生産する林齢は植えてから80年から100年後と言われ、現在がちょうどその時期に当たるわけで、国民の2人に1人は花粉症だといわれています。

金正 調べてみたら最近少しずつ国内木材の需要も増えているようですので、伐採されて花粉が減るといいますね。では、花粉症の治療について教えてください。鼻水がひどく困っている人が多くいます。

海江田 Dr 根本的に治す方法は今のところありませんが、治療法として次の3つがあります。

- ① 薬物療法で症状を抑える
 - ② 手術で悪い粘膜をとる
 - ③ 舌下免疫療法でアレルギーの原因物質を少しずつ体内に吸収させることでアレルギー反応を弱めていく
- 症状が出る時間や頻度に合わせて治療を行っていくことです。



金正

症状や程度にあった治療が大事だという事ですね。花粉症で悩んでいる人は、まず耳鼻科を受診してほしいですね。

鳴川 花粉症を予防するための生活の仕方や食べ物等があれば教えてください。

海江田 Dr 花粉と接触しない、洗濯物を外に干さない、外出した際のジャンパー等の上着に付いた花粉は家の中に持ち込まない、などです。

免疫力を高めるためにヨーグルトをお勧めです。



鳴川 粘膜が弱っているせいか暑い時期は鼻血を出す人が多く居ます。特に5月の体育祭の時期に目立ちました。耳鼻科に相談したほうがいいですか。

海江田 Dr 鼻血は1回出ると繰り返す場合が多いです。20分から30分止まらないこともあります。3〜4週間繰り返し鼻血が出るような場合は耳鼻科を受診してください。

鳴川 鼻も耳も必要以上に触らないことが大事ですね。

金正 最後に波高生にひとことお願いたします。

海江田 哲先生



高校生活楽しんでください。野球部 頑張れ!

Satoshi Kaieda

保健委員
ハンドソープ係・換気リーダー
休みの日は音楽を聴いたりTikTokを見たりしています。

Natsumi Kanemasa

金正 夏弥

海江田先生お忙しい中、私たちの質問に丁寧にお答えいただきありがとうございました!

保健委員
ハンドソープ
アルコール補充係
野球部
ピッチャーとして活躍したい!

鳴川 雅楽

Uta Narukawa

